



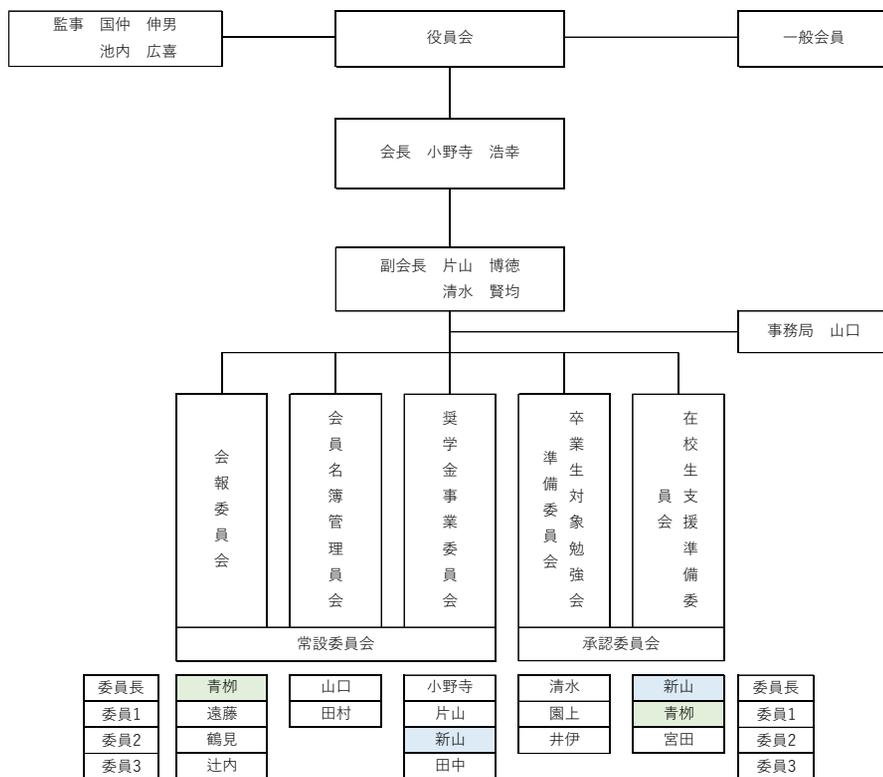
# 東洋公衆衛生学院 同窓会 会報 第 13 号

〒151-0071 東京都渋谷区本町 6-21-7 東洋公衆衛生学院 同窓会 事務局,  
Tel 03-3376-8511 Fax 03-3376-4345 E-mail yama@toyo-college.ac.jp

## コンテンツ

1. 令和 3 年度同窓会総会報告
2. 令和 4 年度第 1 回役員会報告
3. 在校生の近況
4. 国家試験の結果報告
5. 同級生からのメッセージ（連載）  
～東洋公衆衛生学院と私～

## ※令和 4 年度委員会組織図



## 令和 3 年度同窓会総会報告

令和 3 年度東洋公衆衛生学院同窓会総会が令和 4 年 4 月 2 日（土）東洋公衆衛生学院にて Zoom と対面とのハイブリッドで開催されました。令和 3 年度活動報告等、令和 4 年度予算案について審議・承認をいただきました。学院を取り巻く環境は年々変化していますが、同窓会もまた在校生、卒業生と学院を繋ぐという役割を時代の変化とともに柔軟に対応していきたいと考えています。今後とも卒業生皆様方からのご支援をお願い申し上げます。

さて、未だ終息の見えない新型コロナウイルス感染症ですが、感染防止対策を実施した上で開催することが出来ました。残念ながら、今年度も懇親会は中止となりましたが、皆様のご理解とご協力をいただき無事に総会を開催できましたことを改めて御礼申し上げます。

## 令和 4 年度第 1 回役員会報告

同窓会役員会は年 3 回、7 月、10 月、2 月に実施をしています。昨年まで、Covid-19 の感染拡大の影響で、メール審議での開催でしたが、本年は対面とのハイブリッド形式で 7 月 15 日（金）に行われました。主な議題としては、停滞していた活動を活性化するために委員会等の組織作りの構築と年間活動計画、今後の役員会の Zoom 開催の検討と Zoom ライセンスの取得等が提案され全会一致で承認をいたしました。今後も Zoom 等を使用した開催方法を検討し、地方の同窓生が出席しやすい環境を目指したいと思います。今後は、同窓会活動が停滞することのないよう進めていく計画です。また、卒業生の皆様から同窓会に対するご意見を常にホームページ・メール・フェイスブックで募集していますので、是非ともご意見ご感想などをお聞かせ頂ければと思います。

## 在校生の近況

### ～ 臨床検査技術学科 ～

#### 1) 3 年生（55 期生）の様子

昨年度までは Covid-19 の影響で、臨地実習の受け入れが難しい施設がありましたが、今年度は各実習施設のご協力により、Covid-19 の感染拡大の中でも途中の実習中止もなく、4 月より 8 月 19 日（金）までの臨地実習を無事終えることができました。

感染対策に万全の体制をとっていても家族が感染し濃厚接触者になる学生もあり、実習中も PCR 検査を施しながら対応していました。不自由な事の多い中、感染者が増えることもなく、臨床現場で貴重な体験をさせて頂けたと思っています。また、臨地実習終了後には例年通り山中湖へ国家試験合宿に行ってきました。この学年は Covid-19 の影響を初めて入学当初から受けた学生達で、新入生研修も行っておらず、無事に合宿が開催できてよかったと思っています。この合宿を経て、クラス全体の国家試験に向かう意識を高め、お互い協力し合いながら国家試験合格への道を突き進んで欲しいと思っています。



## 2) 2年生(56期生)の様子

入学時より Covid-19 の影響で、3年生同様、さまざまな制約があった学年です。夏前から記録的に暑い日が続き、換気のため窓を開けながらの講義や実習は、本当によく頑張ったと思います。学校側も大型の冷風機を何台か設置して、学生達が少しでも過ごしやすくなるように応援しました。マスクで素顔が全くわかりませんが、その分、教員との会話も増えているかもしれません。

講義もほとんど対面で行って来ました。個々の感染対策を引き続き行いながら、後期も密にならない程度のコミュニケーションを図り、臨地実習に向け成長していった欲しいと思っています。

## 3) 1年生(57期生)の様子

今年度は入学式が時短でしたが行われ、46名の新入生が入学しました。山中湖への新入生研修も PCR の実施と感染対策の徹底の上、やっという事ができました。

一昨年から引き続き Covid-19 の影響を受け、夏休み前は、一部 Online 授業を取り入れましたが、それ以外は、ほとんどが対面授業となりました。他学年同様入学時よりマスクをしているため、一人一人の顔全体が確認できないのが非常に難点です。

教員側も特徴のある学生から覚えていくような状態です。夏休みが明けましたが、ドロップアウトする学生がおらず、全体的な学力の低下は例年通り見られるもののある意味頼もしい学年です。

また、新カリキュラム初年度の学年で、この学生達が臨地実習に出る際は、臨地実習の単位数も 7→12 単位に変更になり、臨地実習の占める重要性が増すこととなります。同窓生の諸先輩方のお力を更にお借りすることとなります。よろしくお願い致します。

本校入学前から、学校生活においてさまざまな制約を受けている学生達ですので、今後も前向きに頑張ってもらいたいと思います。

## ～診療放射線技術学科～

昨年度は学生たちの努力が実を結び、「診療放射線技師国家試験 10年ぶりの 100%合格達成」に安堵しております。日々、新型コロナウイルス対策に追われ、先の見えづらなまでの結果であり、よく耐えたと思います。新型コロナウイルス感染が日本で最初に確認されたのが 2020 年 1 月でした。三年生(41期)は、入学式中止からはじまり、連合体育大会、学内体育大会、学院祭、研修旅行と様々な行事が中止、延期縮小となり、これまでの学生とは違う時間を過ごしています。在学中最大のイベントでもある臨地実習でも、感染、濃厚接触等により実習中止や延期、実習先からの急遽受け入れ中止などもあり、医療の現場でも何が起ころうとも不思議ではない時代になったかと思えます。この先の医療の担い手が困る事の無い様に支えていくにあたり、文部科学省、厚生労働省の通達にも、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設に在学中の学生等の修学等に不利益が生じることがないように配慮をするよう指示もありました。また、2021年の法改正に伴い新カリキュラム含め出来ることを出来るうちに行い、不足の無い様にオンラインを含めた授業体制を構築し、優秀な人材を社会に送り出せるように努めております。

## 国家試験の結果報告

### ～臨床検査技術学科～

令和4年2月16日(水)に第68回臨床検査技師国家試験が大正大学にて実施されました。臨床検査技術学科は新卒受験生32名で、全員合格の結果をいただき、合格率100%となりました。毎年9月の段階ではとても合格するとは思えない成績の学生が見違えるような凛々しい顔つきに変わっていく姿は、頼もしい限りでした。Covid-19に感染してしまうと国家試験の受験ができなくなるため、ハラハラ、ドキドキの毎日でしたが、学校で朝から晩まで全員で学習を進め、無事会場に送り出したことは本当によかったと思います。いつもながら階段の踊り場や廊下等で勉強を行っているため、大型ストーブも設置して頂き、寒さ対策も万全でした。環境の整った素晴らしい施設も必要ですが、自分自身で勉強のしやすい環境作りができるように成長していく学生は、本当に自慢の“うちの子”です。

臨床現場でもそれぞれの力を最大限発揮させてくれることを祈っています。

本学：32人中32人合格 合格率 100 %  
全国：5,331人中4,948人合格 合格率 75.4 %

	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (平成31年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
本校 合格率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
全国 合格率	77%	81%	82%	76%	79%	79%	75%	72%	80%	75%

### ～診療放射線技術学科～

臨床検査技師国家試験翌日、令和4年2月17日(木)に第74回診療放射線技師国家試験が大正大学にて実施されました。新卒業生54名受験、全員合格となり10年ぶりの100%合格でした。今回の国試では3月23日(水)の合格発表後に異例の「正答・合格発表の訂正」があり、新たに43名が合格となりました。こんなこともあるんだなどの思いでしばらく心穏やかに過ごせませんでした。新型コロナ対策に追われ、ワクチンの副反応に耐え、良く頑張ったと思います。以前の学生達とは違うく思い出とはなりましたが、日々医療現場のニュースが流れ、医療者としての心構えは出来たのではないかと思います。今後は医療の一翼を担う人材として期待し送り出すことができました。

本学：54人中54人合格 合格率 100 %  
全国：3,245人中2,793人合格 合格率 86.1 %

	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (平成31年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)
本校 合格率	100%	81%	95%	83%	95%	97%	90%	84%	98%	59%	100%
全国 合格率	83%	67%	77%	74%	78%	85%	75%	79%	82%	74%	86%

## 同窓生からのメッセージ

### 『東洋公衆衛生学院と私』

#### 51 期 臨床検査技術学科 長田恵梨香

私にとって専門学校生活はよく遊び、よく働き、よく寝て(?)、よく学び…、そして何よりよく悩んだ時間でした。三年間で得た一番の財産は自分のやりたいことに向き合えたことです。そんな環境をつくってくださった先生方、同窓会、家族、そして友人たちに、とても感謝しています。

私の場合、自分のやりたいことは臨床検査技師の仕事ではありませんでした。正直なところ入学当初から検査技師になりたい気持ち強い方でなく、病院実習中も先生に「実習はちゃんとやるけれど病院で働くのは無理だと思う」と相談するくらい当時から自分の技師姿が想像できませんでした。国家試験に向け勉強漬けの日々が始まると、点と点だったものが繋がり学ぶことが楽しくなりました。(先生方の努力の賜物です。)  
「なるほど」と理解できるものだけでなく、まだわかっていない沢山のことに魅力を感じました。

そんな私は卒業後、某私立医科大学の研究施設で研究技術員という仕事をしています。自分にあった仕事に就けて毎日充実しています。職种的に臨床検査技師の免許が必須ではありませんが、実習の経験や、学生の時にお世話になった方が研究を助けてくれる機会が多々あります。何より医学研究をするうえで「患者さんと関わったことがある」というのはとても意味のあることだと思っています。当時、決してメジャーとは言えない私の思いにも寄り添ってくださった先生方には本当に感謝です。

臨床検査技師でない私から学生さんに伝えたいことは二つあります。一つは周りから無駄といわれるような経験も今後それが自分の活力や何かの突破口になったりする可能性もあるということ、もう一つは本当にただの無駄な時間になる場合も少なくないことです。どっちに転がるかは基本的に自分次第なのでチャンスが来た時、自分が納得できるようしっかり準備をしてください。そして楽しむことも忘れずに。応援しています。

最後に同窓会の皆さま、COVID-19 感染者増加に加え厳しい暑さが続きますがくれぐれもご自愛ください。

### 『東洋公衆衛生学院と私』

#### 35 期 診療放射線技術学科 池田 綾子

東洋公衆衛生学院を卒業し丸 5 年、今年社会人 6 年目になりました。東洋公衆衛生学院を卒業してもう 6 年目なのかと時の流れは早いと思うと共に、振り返るといろんな気持ちが溢れてきます。

将来は、マンモグラフィーを撮影出来るようになり、女性として活躍できる診療放射線技師になりたいと、東洋公衆衛生学院に入学しました。

東洋公衆衛生学院での 3 年間は、今までの学生生活と全く異なるものでした。大学までスポーツばかりやってきた私にとって、国家試験合格を目指した勉強はとてもハードルが高いものでした。本当に合格出来るのだろうか、特に 3 年生の 1 年間はとても不安でした。それでも、国家試験に合格でき、診療放射線技師として働き、マンモグラフィーの認定試験に合格、女性技師として仕事をする事が出来ているのは東洋公衆衛生学院での 3

年間のお陰です。どんなに朝が早くても、夜遅くなくても学校で勉強させてくれる環境を作ってくれた先生方にはとても感謝しています。友達や、先生方みんなで支えあって試験合格を目指していくのが東洋公衆衛生学院の特徴だと思います。

勉強やテストが辛かったのはもちろんですが、楽しい学生生活を送り、国家試験合格を目指そうとみんなで頑張ったあの 3 年間はとても貴重な学生生活です。

学生の皆さんは今が一番大変な時だと思います。皆さんの先輩方はレポート提出や難しいテスト勉強を乗り越え、診療放射線技師として活躍しています。皆さんも諦めることなく夢に向かって頑張ってください。

#### ～ 編集後記 ～

右を向いても左を向いても“Covid-19”。やっと感染が落ち着いてきたと思えば、また変異して感染拡大です。一体このイタチごっこはいつまで続くのかと思う今日この頃です。

同窓生の皆様も臨床の現場で、活躍され、このどうしようもない感染渦の中で、業務に邁進されていることと思います。

この場をお借りして、同窓生の皆様のご健勝をお祈りしたいと思います。

さて、会報 13 号をお届けします。今年度は昨年度より With コロナの傾向が高まり、入学式も、各種合宿(研修)も感染対策を施しながら、行う事ができましたが、体育祭などすべての行事を行うことは見送られました。

マスク無しの生活はいつになることか?と思いますが、在校生、教員一同力を合わせて奮闘中です。

今後ご支援のほど、よろしくお願い致します。

編集委員長 青柳ますみ

**同窓生からの原稿を募集します！**  
**同窓会会報を同窓生のコミュニティの場に**  
**しませんか？**

卒業生の活躍を掲載したいと思います。

広く原稿を募集していますので、下記メールアドレスまで投稿して下さい。

facebook でも情報発信中

ホームページ @toyoCollegeAlumni

いますぐホームページを  
チェックして下さい。



東洋公衆衛生学院 同窓会事務局

151-0071

東京都渋谷区本町 6-21-7

電話番号 : 03-3376-8511

FAX 番号 : 03-3376-4345

メールアドレス: yama@toyo-college.ac.jp

